

BUSINESS REPORT



株主の皆さまへ 第110期 報告書

2019年12月1日から2020年11月30日まで

津田駒工業株式会社

株主の皆さまへ



代表取締役会長 菱沼捷二 (右)

代表取締役社長 高納伸宏 (左)

2021-2023 スローガン



連結業績ハイライト

受注高 21,784 百万円 (前期28,227百万円)	経常損失 (△) △4,688 百万円 (前期△275百万円)
売上高 20,851 百万円 (前期37,698百万円)	親会社株主に帰属する当期純損失 (△) △4,520 百万円 (前期△594百万円)
営業損失 (△) △4,484 百万円 (前期△228百万円)	1株当たり当期純損失 △707.56 円 (前期△92.97円)

(注) △印は、損失を示しています。

第110期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

令和2年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による移動制限と経済活動の停滞により、極めて厳しい状況に陥りました。こうした中、輸出比率が高い当企業グループは、ウェブを活用した商談や展示会を開催するなど海外渡航が制限される中で販売活動を展開し、受注獲得をめざしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、全体では大幅な損失計上となりました。

一方で、コロナ禍からの回復に向けた需要の取り込みもできたと考えております。

繊維機械事業では、主要な市場であります中国国内でいち早く国内移動の制限が緩和されたことに伴い、早期に現地駐在員を再派遣して販売活動を続け、需要の掘り起こしを行いました。インド市場ならびにその他の市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、ウェブによる商談、現地子会社との情報交換を進め、第4四半期には前年同期を上回る受注を計上いたしました。工作機械関連事業では、中国市場でいち早くスマートフォンやタブレット端末等のEMS業界の需要が回復し、NC円テーブルの大口受注を獲得いたしました。また、主要な納入先であります工作機械業界や自動車業界では、第3四半期以降、中国市場や米国市場での需要回復の傾向が見られました。

迎えました令和3年度は、前期末からの緩やかな受注環境の改善の傾向を受け、生産・売上の回復を見込んでおります。第2四半期（累計）につきましては令和2年度の受注減少の影響が残りますが、下半期には期間黒字化を達成し、次年度の本格回復へと繋げてまいりたいと存じます。

当企業グループは、コロナ禍で落ち込んだ市場の回復期を受注拡大の好機と捉え、2021年から2023年をターゲットとした「中期経営計画2023」を策定し、取り組みをスタートしております。これまでに準備してまいりました新製品の市場投入や効率化投資を進め、収益体質への転換を確実なものとするとともに、EV化への急速な転換、カーボンニュートラルへの対応、SDGsへの対応など、先の時代の変化を見越した技術・製品の開発と企業基盤の強化を進めてまいります。

当企業グループは、大きく変容する社会の中で、モノづくりを通して持続可能な社会の形成と産業の発展に貢献し、業績の拡大と株主価値の向上を図ってまいりたいと存じます。

株主の皆さまには、引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



持続可能な社会を支える当社製品



当企業グループは「われわれはつねに最高の品質をめざし、社会に貢献する」の社是のもと、世界最高の技術と品質を究めたモノづくりと、公正な企業活動を通じて産業の発展に貢献し、安全で豊かな市民生活の実現と持続可能な世界の実現に寄与いたします。

繊維産業を、もっと新しく。 繊維産業で、もっと国を豊かに。

～繊維機械事業～

当社はジェットルーム納入台数世界一の実績を有し、環境も慣習も異なる世界の多様な繊維市場に、細かなサービスと使いやすい高性能織機を提供してきました。特に、中国、インド、東南アジア諸国等、繊維産業によって経済発展をめざす新興諸国において、織布産業の近代化を促し、各国の国際競争力の向上、人材の育成に貢献してまいりました。

日常の生活に欠かせない衣料やホームテキスタイル、命と生活を守るエアバッグやブルーシートなどの産業用織物など、さまざまな繊維製品が当社のジェットルームから生まれます。環境問題にもいち早く取り組み、織機稼働時の電力消費量・水消費量の削減、さらに排水処理技術の研究にも取り組んでいます。当社は、ジェットルームのリーディングカンパニーの誇りと責任を負って、持続可能な繊維産業の発展に貢献してまいります。



空気でヨコ糸を挿入するエアジェットルーム(タオル仕様)



 T-Tech Japan

超高速ジェットルーム稼働を支えるサイジングマシン(経糸糊付け機)



水でヨコ糸を挿入するウォータージェットルーム(ドビー織仕様)



当社独自のボールドライブ駆動NC円テーブル

革新技術をカタチに。 素材と時間の無駄を削ぐ。 ～工作機械関連事業～

加工する素材の位置決め（角度割り出し）を高速かつ1/1000単位の高い精度で行います。CO₂削減に貢献するハイブリッド車にも搭載される高効率エンジンの加工をはじめ、世界をつなぐスマートフォンやタブレット端末の部品加工にも使用されています。自動車、航空宇宙、電子、医療、エネルギーをはじめ、持続可能な社会に欠かせない産業と技術革新基盤の構築に貢献します。

航空宇宙から車いすまで。 夢の素材を便利な素材に。 ～コンポジット機械事業～

炭素繊維複合素材（CFRP）は軽量・高強度の優れた特徴を生かし、自動車、航空宇宙産業をはじめ、風力発電など新たな産業インフラ分野への展開など利用機会が拡大しています。当社は日本初の炭素繊維複合素材自動積層機など自動化設備を開発し、強靱なインフラ構築とイノベーションの推進に貢献しています。すでに航空宇宙産業向けに設備を納入しております。また、携帯可能な車いす用スロープを商品化し、ノーマライゼーションの実現に貢献しております。



国産初の小型ロボットタイプCFRP曲面積層機



ロボット導入効果を最高に。 人の働きがいを最大に。

～TRI(ツダコマ・ロボティック・インテグレーション)～

当社のモノづくりノウハウとNC円テーブルや搬送装置、ジグ設計、電子制御技術など当社グループのコア技術を統合し、お客さまのロボットシステム構築をサポートします。現場作業の自動化を進め、作業者を重労働から解放し、より個々のやりがいを満たす働き方の実現に貢献します。

事業別の状況

繊維機械事業

受注高 **16,826** 百万円 (前期比24.6%減少)

売上高 **15,554** 百万円 (前期比47.5%減少)

営業損失(△) △**2,856** 百万円 (前期営業利益353百万円)

工作機械関連事業

受注高 **4,957** 百万円 (前期比16.1%減少)

売上高 **5,297** 百万円 (前期比34.2%減少)

営業損失(△) △**407** 百万円 (前期営業利益736百万円)

連結財務データ

BUSINESS REPORT

連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前期 令和元年11月30日現在	当期 令和2年11月30日現在
資産の部		
流動資産	22,658	18,810
固定資産	12,793	12,663
有形固定資産	9,521	9,630
無形固定資産	577	702
投資その他の資産	2,694	2,330
資産合計	35,452	31,473
負債の部		
流動負債	14,723	16,283
固定負債	6,888	5,893
負債合計	21,612	22,176
純資産の部		
株主資本	12,900	9,158
その他の包括利益累計額	△297	28
非支配株主持分	1,236	109
純資産合計	13,839	9,296
負債純資産合計	35,452	31,473

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	前期 平成30年12月1日から 令和元年11月30日まで	当期 令和元年12月1日から 令和2年11月30日まで
売上高	37,698	20,851
営業損失(△)	△228	△4,484
経常損失(△)	△275	△4,688
税金等調整前当期純損失(△)	△291	△4,487
当期純損失(△)	△521	△4,542
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△594	△4,520

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

本社所在地 〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号
 設 立 昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）

資 本 金 123億1,654万円
 従 業 員 953名

役員の内訳 (令和3年2月末日現在)

代表取締役会長	菱 沼 捷 二	法務・コンプライアンス室担当、TSUDAKOMA Europe s.r.l. 代表取締役
代表取締役社長	高 納 伸 宏	管理部門統括、輸出管理室長、ふぁみーゆツダコマ株式会社 代表取締役
常 務 取 締 役	松 任 宏 幸	共和電機工業株式会社担当、共和電機工業株式会社 代表取締役
取 締 役	山 田 茂 生	製造部門統括、品質保証部門担当
取 締 役	北 野 浩 一	コンポジット機械部門統括、準備機械技術部門担当、準備機械技術部長、株式会社T-Tech Japan 代表取締役
取 締 役	大 森 一 充	工作機械関連事業統括、工機技術部長、航空機部品推進室長、ツダコマテクノサポート株式会社 代表取締役
取 締 役	寺 田 武 志	繊維機械事業統括、TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED 代表取締役、津田駒機械設備（上海）有限公司 董事長、津田駒機械製造（常熟）有限公司 董事長
取 締 役	越 馬 進 治	
取 締 役	潮 田 資 勝	
常 勤 監 査 役	橋 本 博 政	（澁谷工業株式会社 取締役副会長）
常 勤 監 査 役	澁 谷 進 治	（カジナイロン株式会社 代表取締役社長）
監 査 役	梶 政 隆	
執 行 役 員	浅 井 俊 和	製造第1部長
執 行 役 員	室 井 哲 也	生産技術部長
執 行 役 員	山 宮 和 史	繊維機械技術部長
執 行 役 員	田 博 幸 峰	調達部門担当、調達部長
執 行 役 員	林 大 河	津田駒機械製造（常熟）有限公司 総経理
執 行 役 員	大 河 哲 史	工機販売部長

*取締役 越馬進治氏及び潮田資勝氏は社外取締役です。

*監査役 澁谷進治氏及び梶政隆氏は社外監査役です。

株式の概況 (令和2年11月30日現在)

株式の内訳

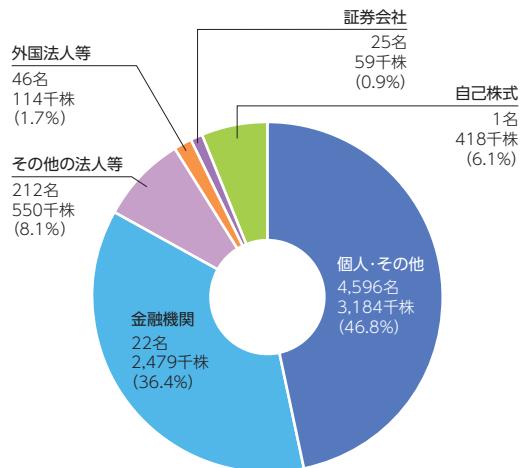
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
(内自己株式の数)	(418,676株)
③単元株式数	100株
④株主数	4,902名

大株主の内訳

株 主 名	持株数 (千株)
津田駒取引先持株会	1,044
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	732
明治安田生命保険相互会社	350
株式会社北陸銀行	258
株式会社北國銀行	232
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	220
ツダコマ従業員持株会	189
三井住友海上火災保険株式会社	178
東京海上日動火災保険株式会社	177
株式会社日本カストディ銀行（信託口5）	83

(注) 当社の保有する自己株式418千株は上記表には含んでおりません。

株式の分布状況



(カッコ内は持株比率)



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（第1部）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国 各支店で行っております。

ホームページのご案内

<https://www.tsudakoma.co.jp/>